

令和4年3月2日

令和4年第1回神奈川県議会定例会

建設・企業常任委員会附属資料  
(予 算)

(令和4年2月25日付託分)

県土整備局



# 目 次

	ページ
〔資料 1〕 水防災戦略の推進	1
〔資料 2〕 地震防災対策の推進	3
〔資料 3〕 河川改修事業 一級河川 矢上川〔矢上川地下調節池〕	4
〔資料 4〕 河川改修事業 二級河川 山王川	6
〔資料 5〕 都市河川重点整備計画(新セイフティリバー)の推進	8
〔資料 6〕 砂防事業 宮沢川	10
〔資料 7〕 急傾斜地崩壊対策事業 鶴見2丁目A地区	12
〔資料 8〕 急傾斜地崩壊対策事業費(単独事業)の重点配分	14
〔資料 9〕 緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化促進	15
〔資料 10〕 道路災害防除事業 国道134号	16
〔資料 11〕 橋りょう補修事業 県道78号(御殿場大井)〔足柄大橋〕	18
〔資料 12〕 山・川・海の連続性をとらえた「川づくり・なぎさづくり」	20
〔資料 13〕 「かながわのみちづくり計画」に基づく幹線道路網の整備	21
〔資料 14〕 道路改良事業 県道64号(伊勢原津久井)〔古在家バイパスI期〕	23
〔資料 15〕 街路整備事業 都市計画道路 湘南新道	25
〔資料 16〕 流域下水道事業 相模川流域下水道(建設改良事業)	27
〔資料 17〕 流域下水道事業 酒匂川流域下水道(建設改良事業)	29
〔資料 18〕 県営住宅整備事業 県営いちょう下和田団地	31
〔資料 19〕 県営住宅整備事業 県営上溝団地	33
〔資料 20〕 観光地へのアクセスを強化する道路の整備(主な整備路線)	35
〔資料 21〕 法人二税の超過課税を活用して推進する施策	36
〔資料 22〕 令和4年度 主な完成・開所予定・着手箇所	37

## 水防災戦略の推進

### 1 趣旨

台風被害からの復旧復興に取り組むことに併せ、近年の台風等による大規模な風水害における課題や教訓を踏まえ策定した「神奈川県水防災戦略」に基づき、風水害対策を計画的に進める。

### 2 目標

住民による適切な避難行動を促進するとともに、水害や土砂災害による被害の最小化を目指し、次の目標を定める。

- ・「水害からの逃げ遅れゼロ」
- ・「県民のいのちを守り、財産・生活等への被害を軽減」

### 3 令和4年度当初予算額 41,508,551 千円

[3年度2月補正予算額 3,032,342 千円] 総額 44,540,893 千円

### 4 主な取組

近年の台風による被害等を踏まえ、今後、頻繁に発生することが危惧される水害の発生を防止し、遅らせ、その影響を最小限に留めるためのハード対策及び住民の避難を中心としたソフト対策の強化により目標の達成を目指す。

令和4年度については、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算を活用し、戦略策定時の計画額に上乗せして、大規模事業等の加速化を図る。

※< >は4年度当初予算額、[ ]は3年度2月補正予算額

#### 令和4年度の主な事業

(1) 緊急に実施することで被害を最小化するハード対策 ～ すぐ調べ、すぐ対応 ～  
 <6,710,248 千円> [316,000 千円]

今後の出水期に向け、早急な対応が必要な箇所、迅速な整備が必要な箇所等に対し、令和2年度から4年度の3か年内に緊急に実施し、危険箇所の解消を図る事業  
 (その後も定期的にパトロールや点検など適切な維持管理を実施)

○ 河川の緊急対応 <6,710,248 千円> [316,000 千円]

ア 増水時に被災する恐れがある老朽化護岸や部分的に破損している護岸等について、緊急補修等の未然防止対策工事を実施する。

【令和4年度予算で対応する箇所：玉川、平作川など18河川29箇所】

イ 市町村が強く要望している区間や氾濫の危険性が特に高い区間等について、堆積土砂の撤去や樹木の伐採を重点的に実施する。

【令和4年度予算で対応する河川：金目川、酒匂川など43河川】

## 令和4年度の主な事業

### (2) 中長期的な視点で取組を加速させるハード対策 ～ 加速し、強化する ～

＜33,364,303千円＞ [2,591,342千円]

中長期的な視点で取り組む事業のうち、減災、強靱化の効果が早期に期待できる事業について、充実強化、事業の前倒し等を図る事業

#### ア 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備

＜12,459,944千円＞ [480,000千円]

遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替等、事業着手中の全ての大規模事業について、重点的、集中的に実施し、計画を前倒しして、概ね10年以内での効果の発現を目指す。

#### イ 海岸保全施設等の整備

＜1,625,132千円＞ [180,000千円]

堤防高や消波機能等が不足する海岸のうち、近年、高潮や高波で後背地の家屋などに被害が発生した海岸について、優先的に護岸等の海岸保全施設を整備する。

#### ウ 港湾施設等の防災機能の強化

＜242,000千円＞

港湾における被害の防止、最小化を図るため、港湾施設の整備や老朽化対策等を実施する。

#### エ 土砂災害防止施設の整備

＜7,170,515千円＞ [1,229,000千円]

- ・ 急傾斜地の土砂災害警戒区域のうち、過去にがけ崩れがあった箇所や要配慮者利用施設のある箇所などについて、重点的に整備を実施する。
- ・ 地域防災計画に位置付けられた避難路の被害を受ける恐れのある箇所などについて、砂防堰堤等の整備を重点的に実施する。

#### オ 道路の防災対策の充実・強化

＜11,856,712千円＞ [702,342千円]

- ・ 道路斜面等を対象とした防災点検における要対策箇所のうち、緊急輸送道路で土砂崩落対策施設等の整備を優先的に実施し、この中でも特に重要度の高い国道において、3か年で、要対策箇所（約40箇所）の半減を目指す。
- ・ 災害時にバイパス機能を果たす道路ネットワークの整備や橋りょうの補強等を推進する。

#### カ 流域下水道施設の耐水化

＜10,000千円＞

相模川及び酒匂川の氾濫等で想定される浸水に対し、下水処理機能を維持するための対策について検討を行い実施する。

### (3) 災害対応力の充実強化に向けたソフト対策 ～ しっかり備える ～

＜1,434,000千円＞ [125,000千円]

市町村が行う避難対策、減災対策への支援、住民による適切な避難行動につなげるための迅速・的確な情報受伝達機能の強化、県の災害対応体制の強化等を図る事業

#### ○ 避難対策の強化

＜1,434,000千円＞ [125,000千円]

- ・ 水位観測施設の増設や改修など、住民への河川情報提供の強化を図る。
- ・ 施設整備や災害に伴う地形改変等に合わせ、適宜、土砂災害警戒区域等の見直しを行う。
- ・ 土砂災害からの速やかな避難行動に結びつけるため、市町村と連携し、緊急速報メールを活用した土砂災害警戒情報の配信等の取組を推進する。



# 地震防災対策の推進

資料 2

## 1 目的

東日本大震災などを踏まえ、県民のいのちを守り、安全・安心の確保を図るため、地震や津波への対策を進める。

## 2 予算額 44,794,984 千円

## 3 事業内容

項 目	主 な 事 業 内 容	
計画的な土地利用と市街地整備の推進		1,714,391 千円
市街地の整備	○建築物が密集し、防災性の低い地域を市街地再開発事業等により整備	
防災空間の確保		5,890,962 千円
都市公園の整備	○災害時に防災拠点となる都市公園の整備	
街路の整備	○災害時における火災の延焼遮断帯や避難路となる都市計画道路の整備	
道路橋りょう、港湾等の安全対策		24,596,109 千円
道路の整備	○大規模地震などの発災時における各種応急対策活動を迅速かつ円滑に行うための緊急輸送道路の整備	
橋りょうの整備	○橋りょうの新設、架替、既存橋りょうの耐震補強工事	
港湾の整備	○緊急物資や避難者の輸送の拠点となる港湾の防災機能の充実のため、臨港交通施設の老朽化対策を実施	
津波高潮対策		1,654,459 千円
河川海岸の整備	○相模湾沿岸の海岸の養浜等	
がけ崩れ対策等の推進		7,869,418 千円
がけ崩れ等の土砂災害の防止	○急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、砂防指定地での土砂災害防止施設の整備	
ライフラインの安全対策		1,549,200 千円
電線類の地中化	○電線類を地中化することにより、安全性の一層の向上を図るため、電線共同溝の整備	
流域下水道の耐震化	○下水処理場の水処理施設等の耐震補強	
建築物等の安全確保対策		437,282 千円
大規模建築物の耐震化	○耐震改修促進法で耐震診断が義務付けられた大規模建築物の耐震改修に対する補助	
沿道建築物の耐震化	○緊急輸送道路で県や市町村が耐震診断を義務付ける路線等の沿道建築物の耐震診断、耐震改修に対する補助	
宅地の耐震化	○大地震発生時に滑動崩落のおそれのある大規模盛土造成地の安全性の向上を促進するため、調査を推進	
足柄上合同庁舎車庫等の建て替え	○老朽化した車庫棟等を建て替えるとともに、防災資機材の備蓄体制の充実及び地域防災力の強化を推進	
災害時の情報収集・提供体制の拡充		737,000 千円
水防情報基盤の整備	○水位観測施設等の増設や改修等	
その他		346,163 千円
復旧・復興対策	○大規模災害からの復旧・復興に資する地籍調査を着実に促進	

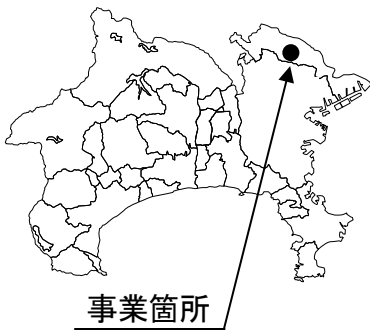
## 河 川 改 修 事 業

区 分	一級河川 矢上川〔矢上川地下調節池〕
事業概要	<p>矢上川は、川崎市宮前区菅生にその源を発し、川崎市の西部を南下して鶴見川に合流する一級河川です。</p> <p>矢上川の流域は、市街化が著しく、沿川に人家が密集していることなどから、河道整備が困難なため、矢上川及び道路の地下を有効活用したトンネル式の地下調節池の整備を進めています。</p> <p>令和4年度は、トンネル本体Ⅰ期工事（矢上川領域）のシールドトンネル工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 川崎市宮前区梶ヶ谷他</p> <p>(2) 事業内容 地下調節池 (トンネル延長 4.026km、内径 7.9m、貯水容量 19.4 万 m<sup>3</sup>)</p>
全体事業費	約 490 億円
令和4年度事業内容	シールドトンネル工
事業期間	平成 21 年度 ～ 令和 12 年度（矢上川領域暫定供用）



事業名	河川改修事業
河川名	一級河川 矢上川〔矢上川地下調節池〕
事業箇所	川崎市宮前区梶ヶ谷他

位置図



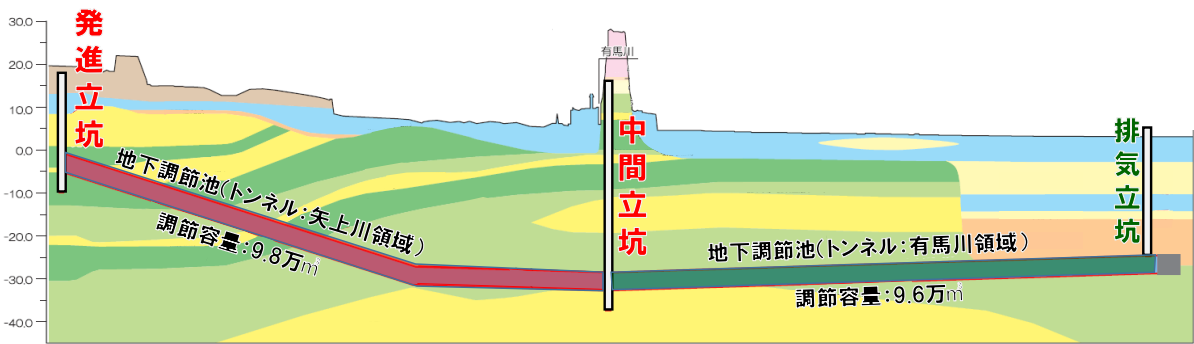
現況写真



平面図



縦断面図

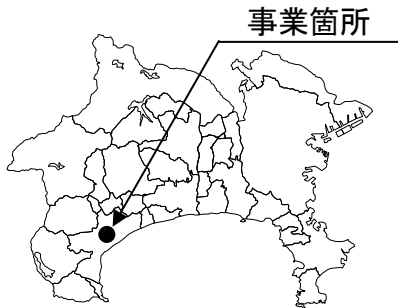


## 河 川 改 修 事 業

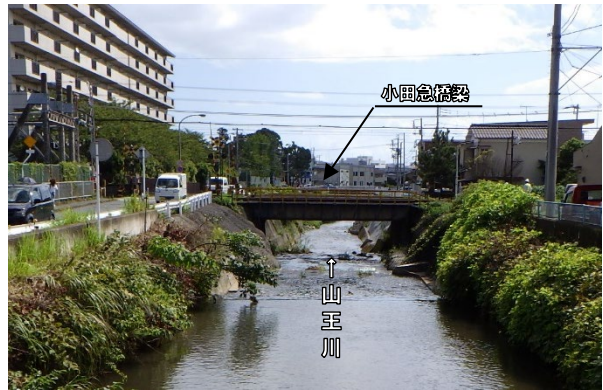
区 分	二級河川 山王川
事業概要	<p>山王川は、箱根外輪山の一部である明星ヶ岳付近に源を發し、小田原市の中心市街地を流下して相模湾に注ぐ二級河川です。</p> <p>山王川の流域では、沿川に人家が密集しており、過去に浸水被害が発生していることから、狭窄区間となっている小田急橋梁付近において、流下能力を向上させるために鉄道橋架替事業を進めています。</p> <p>令和4年度は、仮線工等を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 小田原市扇町一丁目他 (2) 事業内容 鉄道橋架替</p>
全体事業費	約 54 億円
令和4年度 事業内容	仮線工等
事業期間	令和2年度 ～ 令和6年度

事業名	河川改修事業
河川名	二級河川 山王川
事業箇所	小田原市扇町一丁目他

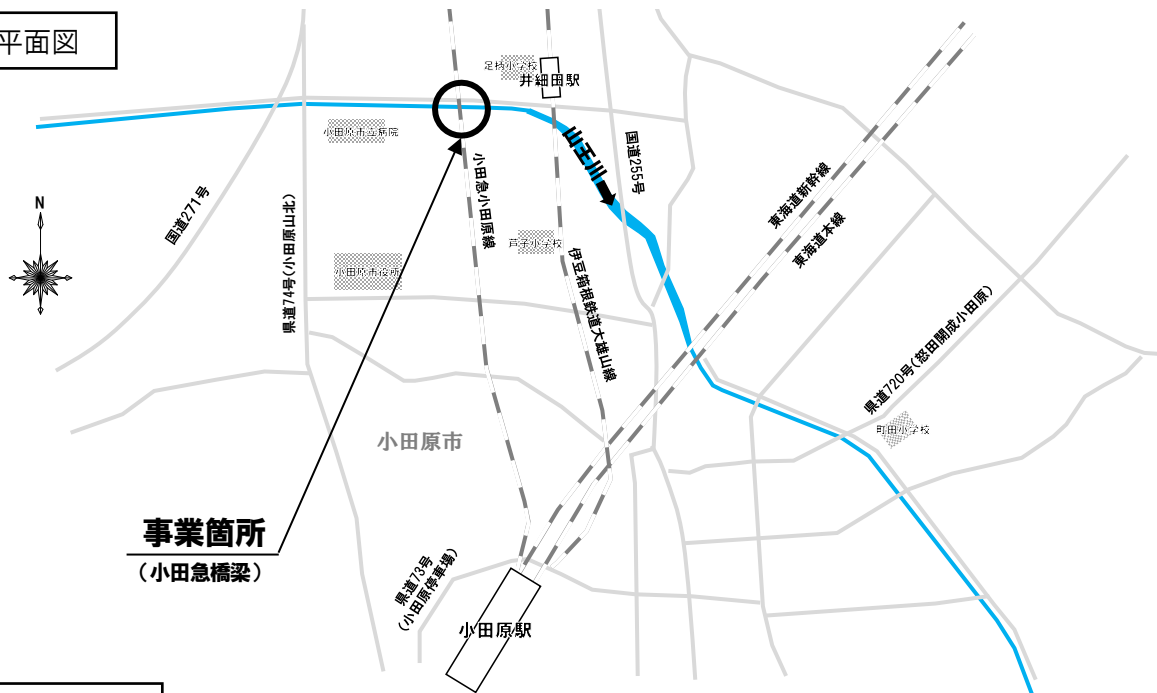
位置図



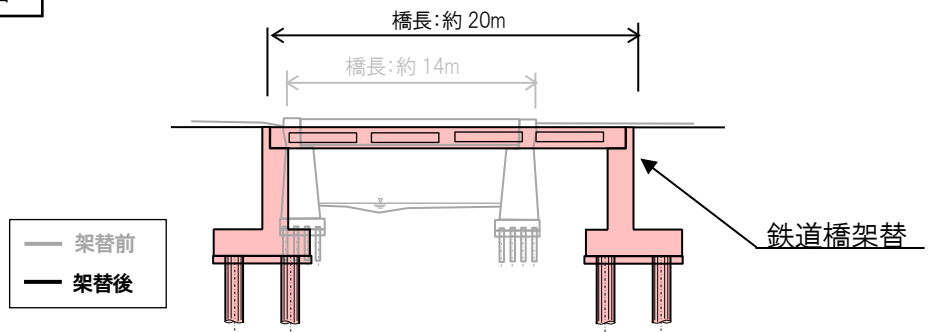
現場写真(整備前)



平面図



標準横断図



## 都市河川重点整備計画（新セイフティリバー）の推進

### 1 目的

近年、都市化の進展により流域の保水・遊水機能が減少していることや、局部的、突発的に短時間で多量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨が頻発していることから、治水対策の重要性がますます高まっています。

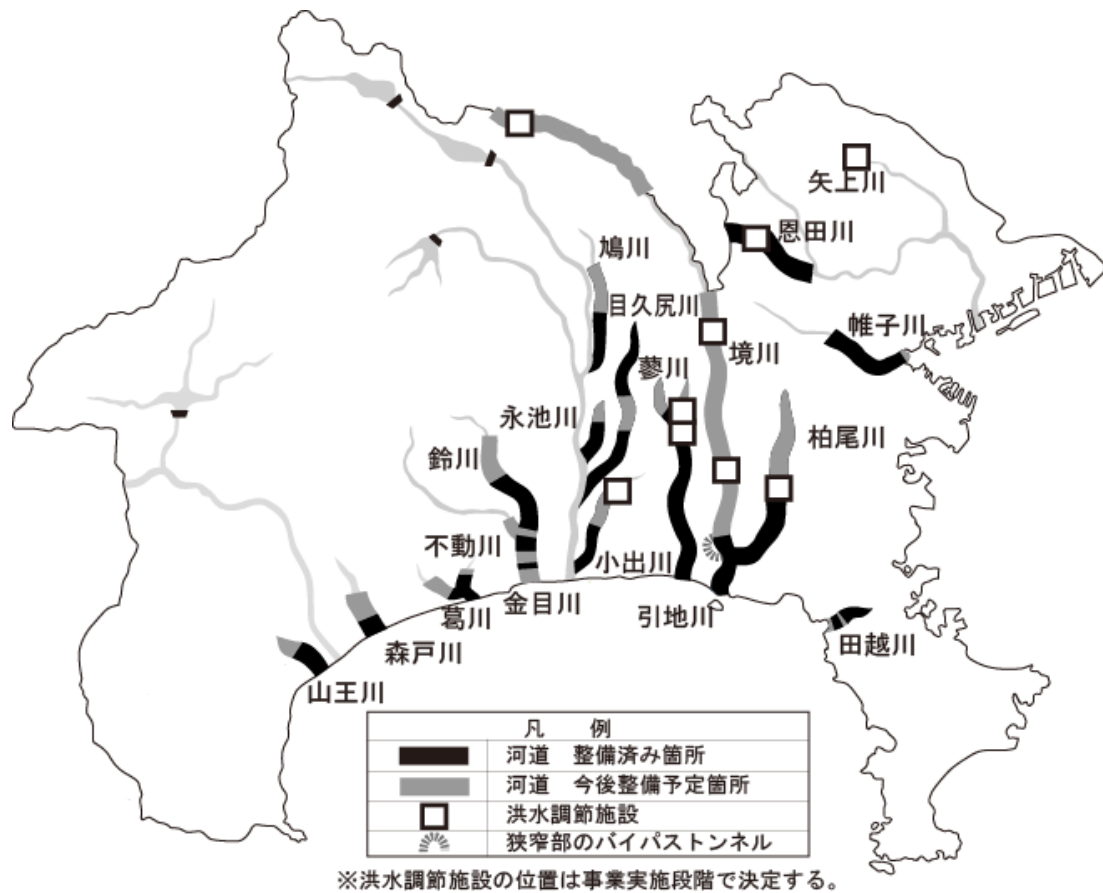
こうした中、県では、厳しい財政状況のもとで、より効率的、効果的な河川整備を進めるため、県内の中小河川のうち、過去の大雨で水害が発生した河川や都市化の進展が著しい地域を流れる 18 河川について、「都市河川重点整備計画（新セイフティリバー）」に位置づけ、重点的に整備を進めます。

### 2 令和 4 年度当初予算額 10,914,337 千円

### 3 令和 4 年度事業内容

河川名	主な事業箇所	主な内容
矢上川	川崎市宮前区梶ヶ谷他	トンネル工、調査委託
恩田川	横浜市緑区小山町	施設設計委託、調査委託、用地取得
帷子川	横浜市西区平沼一丁目他	地盤改良工、用地取得
田越川	逗子市逗子二丁目他	護岸工、用地取得
境川	大和市深見他	護岸工、監視システム工、堰改修工、橋りょう工、河床掘削工、施設設計委託、調査委託、用地取得
柏尾川	横浜市栄区金井町	遊水地工、施設設計委託、調査委託、用地取得
引地川	藤沢市下土棚他	護岸工、河床掘削工、調査委託、用地取得
蓼川	綾瀬市上土棚中六丁目他	護岸工、施設設計委託
小出川	茅ヶ崎市行谷他	護岸工、橋りょう工、施設設計委託、調査委託、用地取得
目久尻川	藤沢市用田他	護岸工、施設設計委託
永池川	海老名市大谷他	護岸工、橋りょう工、河床掘削工、施設設計委託、調査委託、用地取得
鳩川	相模原市南区磯部	護岸工、計画検討委託
金目川	平塚市唐ヶ原他	護岸工、河床掘削工、計画検討委託
鈴川	平塚市寺田縄	河床掘削工
葛川	二宮町二宮他	施設設計委託
不動川	大磯町月京	護岸工、施設設計委託
森戸川	小田原市国府津	用地取得
山王川	小田原市扇町三丁目他	橋りょう工

## 都市河川重点整備計画(新セーフティリバー)の概要



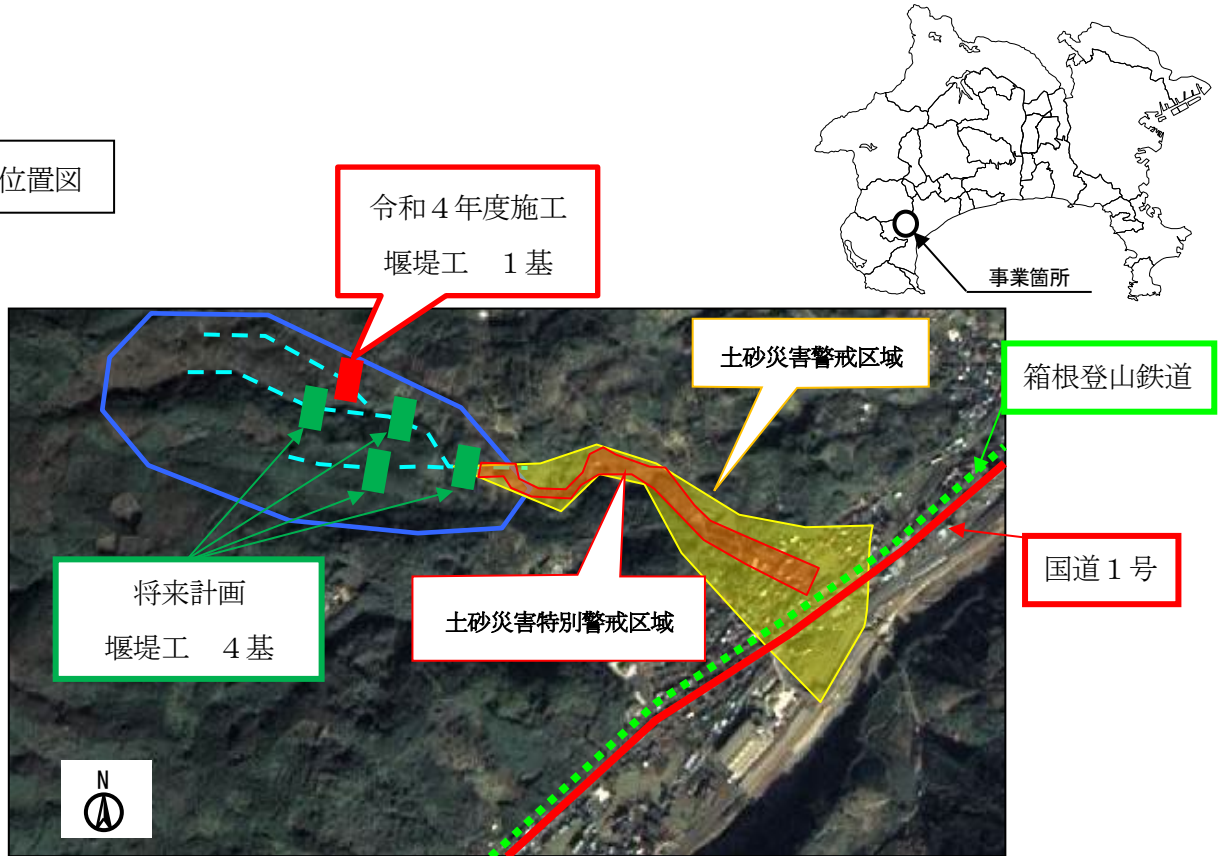
河 川 名	整備概要 (概ね30年間)	河 川 名	整備概要 (概ね30年間)
矢 上 川	洪水調節施設 1箇所	小 出 川	洪水調節施設 1箇所 河道整備 約2.9km
恩 田 川	洪水調節施設 1箇所		
帷 子 川	河道整備 約0.1km	目 久 尻 川	河道整備 約0.3km
田 越 川	河道整備 約1.0km	永 池 川	河道整備 約1.6km
境 川	洪水調節施設 3箇所 狭窄部のバイパストンネル 河道整備 約31.7km	鳩 川	河道整備 約4.4km
		金 目 川	河道整備 約2.6km
柏 尾 川	洪水調節施設 数箇所 河道整備 約3.8km	鈴 川	河道整備 約3.1km
		葛 川	河道整備 約2.0km
引 地 川	洪水調節施設 2箇所 河道整備 約3.0km	不 動 川	河道整備 約0.2km
		森 戸 川	河道整備 約1.1km
蓼 川	河道整備 約3.5km	山 王 川	河道整備 約1.7km
18河川	河道整備 16河川 約63.0km 洪水調節施設 6河川 狭窄部のバイパストンネル 1河川		

## 砂 防 事 業

区 分	みやさわがわ 宮沢川
事業概要	<p>宮沢川は、小田原市に位置する、流域面積 0.50km<sup>2</sup>の溪流です。</p> <p>本溪流の上流域の山腹斜面は急峻、表層は脆弱であり、下流域の一部は、平成 24 年神奈川県告示第 291 号にて土砂災害警戒区域等に指定しております。</p> <p>この土砂災害警戒区域等は民家、国道及び鉄道を含んでおり、土石流が発生した場合には、甚大な被害が発生する可能性があることから、砂防堰堤を整備し、土砂災害の未然防止を図るものです。</p> <p>令和 4 年度は、砂防堰堤工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 小田原市入生田 (2) 事業内容 砂防堰堤工 5 基</p>
全体事業費	約 7 億円
令和 4 年度 事業内容	砂防堰堤工 1 基
事業期間	平成 21 年度 ～ 令和 10 年度

事業名	砂防事業
路線名	宮沢川
事業箇所	小田原市入生田

位置図



溪流荒廃状況



保全対象



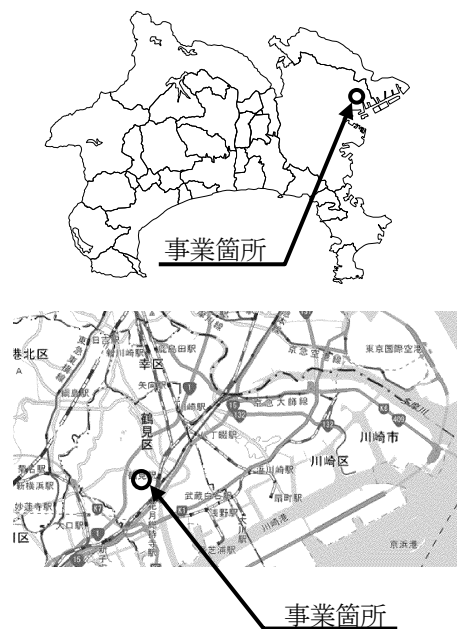
## 急傾斜地崩壊対策事業

区分	鶴見2丁目A地区
事業概要	<p>鶴見2丁目A地区の急傾斜地崩壊危険区域は、横浜市鶴見区に位置し、斜面の          高さは約15m、勾配は約50度です。区域内には人家や要配慮者利用施設（保育          園）が立地しています。</p> <p>がけ崩れ災害から人命を守るため、急傾斜地崩壊防止施設を整備しています。          令和4年度は、法枠工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 横浜市鶴見区鶴見二丁目          (2) 事業延長 255.0m</p>
全体事業費	約2億円
令和4年度 事業内容	法枠工
事業期間	令和2年度～令和4年度

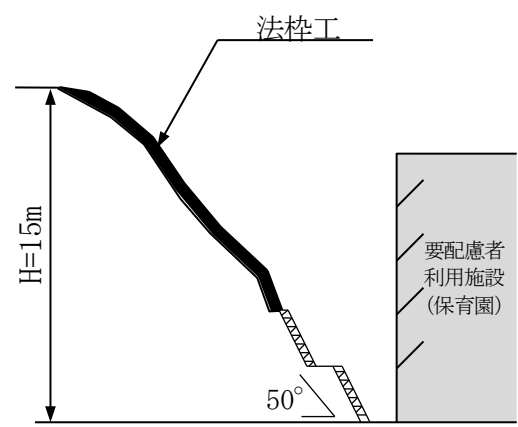


事業名	急傾斜地崩壊対策事業
区域名	鶴見2丁目A地区
事業箇所	横浜市鶴見区鶴見二丁目

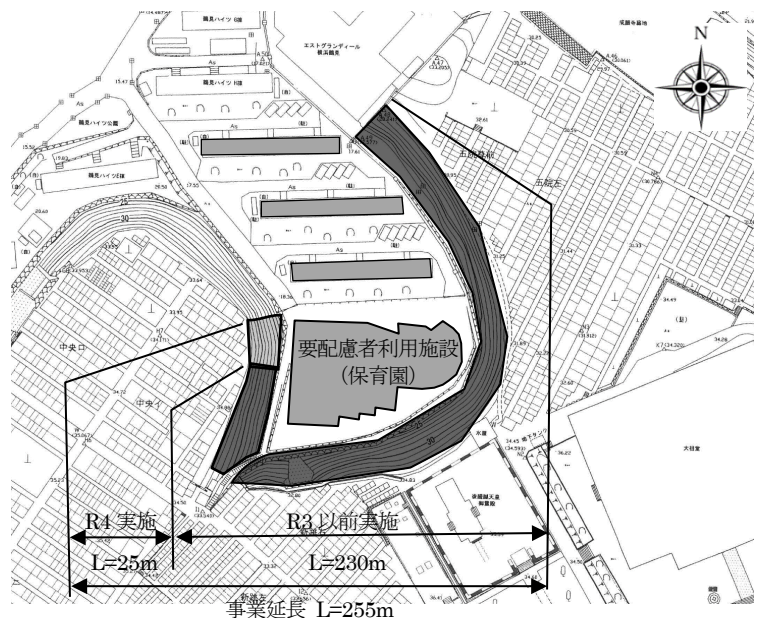
位置図



横断面図



平面図



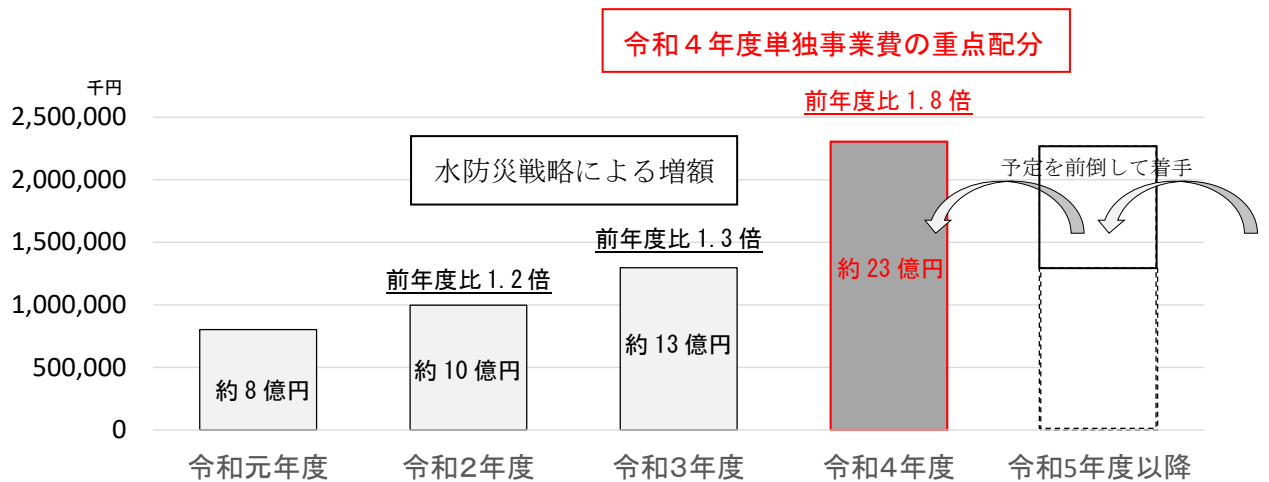
## 急傾斜地崩壊対策事業費（単独事業）の重点配分

### 1 背景

近年、全国的に土砂災害が頻発している中、県では、令和2年2月に策定した水防災戦略に、中長期的な視点で取組を加速させるハード対策として、急傾斜地崩壊対策事業を位置づけ、予算を拡充して取り組んでいる。

特に、がけの高さが10m未満等により、国の交付金事業の採択基準を満たさない急傾斜地の施設整備を進めるため、単独事業費の重点配分を行う。

### 2 令和4年度当初予算額 2,304,315千円（前年度比1.8倍）



### 3 主な取組

がけ地を多く抱える県東部の横浜市や横須賀市をはじめ、県内における単独事業費で対応している急傾斜地の施設整備を進めるため、令和4年度から単独事業費の重点配分を行い、前倒して新規に着手する等、施設整備の加速化を図る。

【令和4年度予算で対応する箇所：新橋町地区（横浜市）等 136箇所】



## 緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化促進

### 1 目的

大規模地震による甚大な人的・物的被害が懸念される中、県地域防災計画に位置付けた緊急輸送道路が震災時においてもその機能を確保できるよう、通行障害を引き起こす恐れのある沿道建築物の耐震化を促進する。

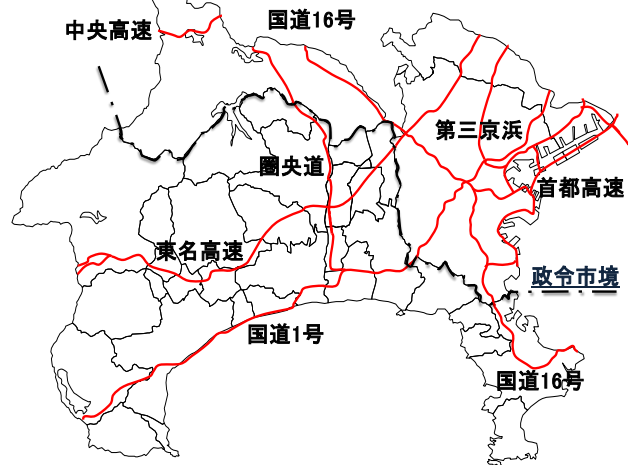
### 2 予算額

84, 136千円

### 3 事業内容

緊急輸送道路のうち、第1次緊急輸送道路(約1,500km)について、耐震診断を義務化する路線とその他の路線に分け、それぞれの沿道建築物の耐震診断・耐震改修に対し補助する。

広域ネットワーク路線



#### (1) 沿道建築物耐震化補助事業費

4, 736千円

##### ア 対象

県域を越えた広域ネットワークを形成する路線のうち、政令市以外の市町村で県が耐震診断を義務付ける沿道建築物について、建物所有者が行う耐震診断・耐震改修に対し補助する。

##### イ 補助率

- 耐震診断 原則国 1/2、県 1/2、所有者負担なし
- 耐震改修 国 1/6、県 1/6、所有者 2/3

#### (2) 沿道建築物耐震化支援事業費

79, 400千円

##### ア 対象

県が耐震診断を義務化する区間を除く第1次緊急輸送道路の沿道建築物について、市町村と連携して建物所有者が行う耐震診断・耐震改修に対し補助する。

##### イ 補助率

(ア) 広域ネットワークを形成する路線で、政令市が耐震診断を義務付ける沿道建築物

- 耐震診断 国 1/2、県 1/6、政令市+所有者 1/3
- 耐震改修 国 2/5、県 1/9、政令市+所有者 22/45

(イ) その他の路線の沿道建築物 < >内は政令市の場合

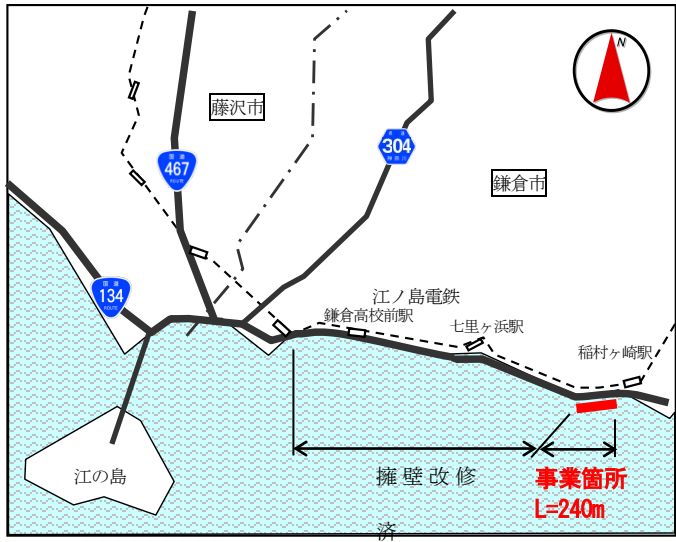
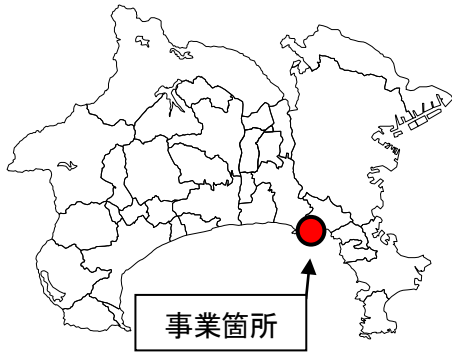
- 耐震診断 国 1/3、県 1/6 <1/9>、市町村+所有者 1/2 <5/9>
- 耐震改修 国 1/3、県 1/6 <1/9>、市町村+所有者 1/2 <5/9>

## 道 路 災 害 防 除 事 業

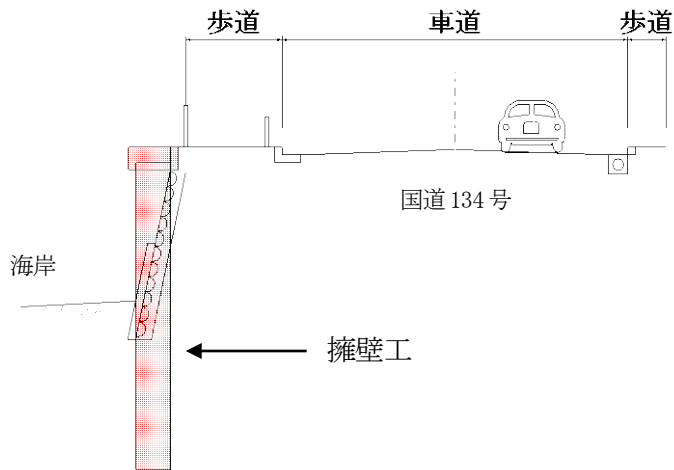
区 分	国道 134 号
事 業 概 要	<p>国道 134 号は、横須賀市三春町を起点とし、大磯町大磯に至る主要幹線道路で、災害時の緊急輸送道路（1次路線）に指定されています。</p> <p>本事業箇所では、道路を支える海側の擁壁が老朽化しており、崩落する恐れがあることから、改修を行い、災害の発生を未然に防止するものです。</p> <p>令和4年度は、擁壁工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 鎌倉市稲村ガ崎三丁目  (2) 事業延長 240m</p>
全体事業費	約 10 億円
令和 4 年度 事 業 内 容	擁壁工
事 業 期 間	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度

事業名	道路災害防除事業
路線名	国道134号
事業箇所	鎌倉市稲村ガ崎三丁目

位置図



標準断面図

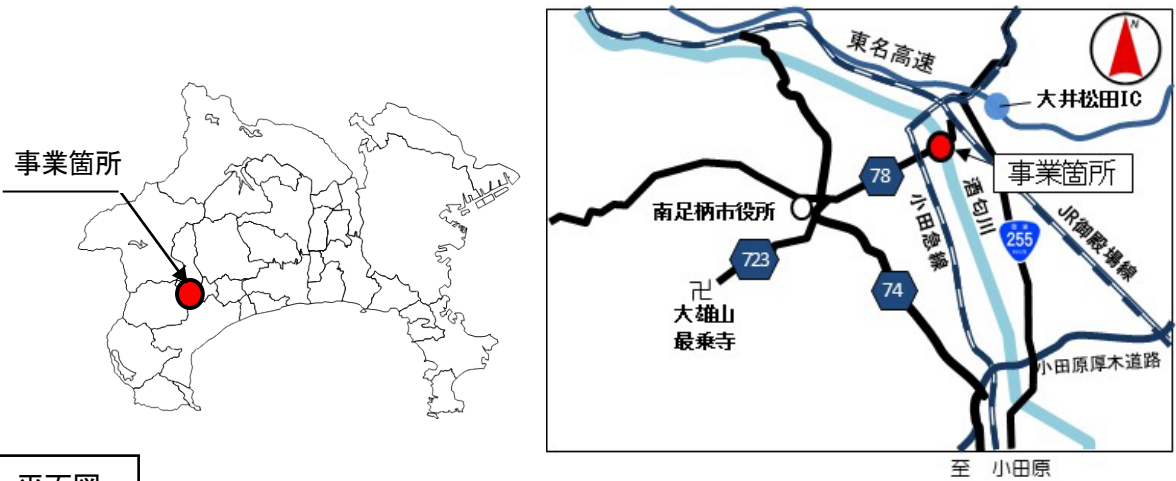


## 橋 り よ う 補 修 事 業

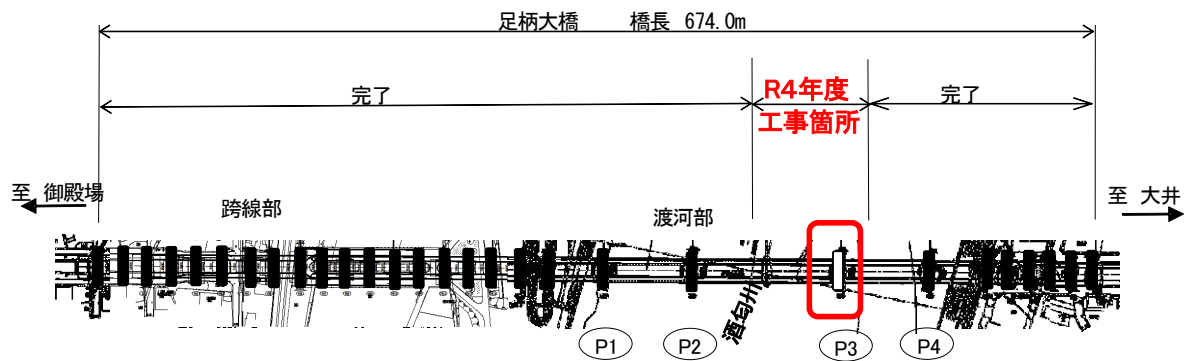
区 分	県道 78 号（御殿場大井）〔足柄大橋〕
事業概要	<p>県道 78 号（御殿場大井）は、南足柄市矢倉沢の県境を起点とし、大井町金子に至る主要幹線道路で、災害時の緊急輸送道路（1次路線）に指定されています。</p> <p>本事業は、二級河川酒匂川を渡河する足柄大橋について、橋脚の耐震補強工事を実施し、地震被害の未然防止を図るものです。</p> <p>令和 4 年度は、引き続き橋脚の耐震補強工事を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 開成町吉田島～大井町金手  (2) 事業延長 674.0m（下部工 29 基）  (3) 幅 員 14.4m</p>
全体事業費	約 13 億円
令和 4 年度 事業内容	耐震補強工
事業期間	平成 24 年度 ～ 令和 5 年度

事業名	橋りょう補修事業
路線名	県道78号(御殿場大井) [足柄大橋]
事業箇所	開成町吉田島～大井町金手

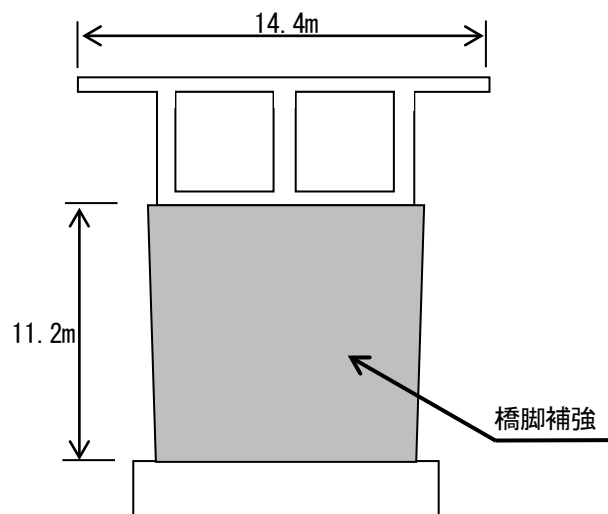
位置図



平面図



断面図







## 山・川・海の連続性をとらえた「川づくり・なぎさづくり」

## 基本的な考え方

治水・利水事業により県民生活の向上が図られた一方、ダムや堰等により海岸への土砂供給量が減少したことや、海岸の構造物や地形などの複合的な要因により、海岸侵食が引き起こされている。

そこで、広域的視野に立ち、山等から河川を通じて沿岸を移動する土砂の流れである流砂系の健全化に向けた総合的な土砂管理を進める。

令和4年度は、環境への影響をモニタリングしながら、河川では置き砂、河床掘削などを行う。

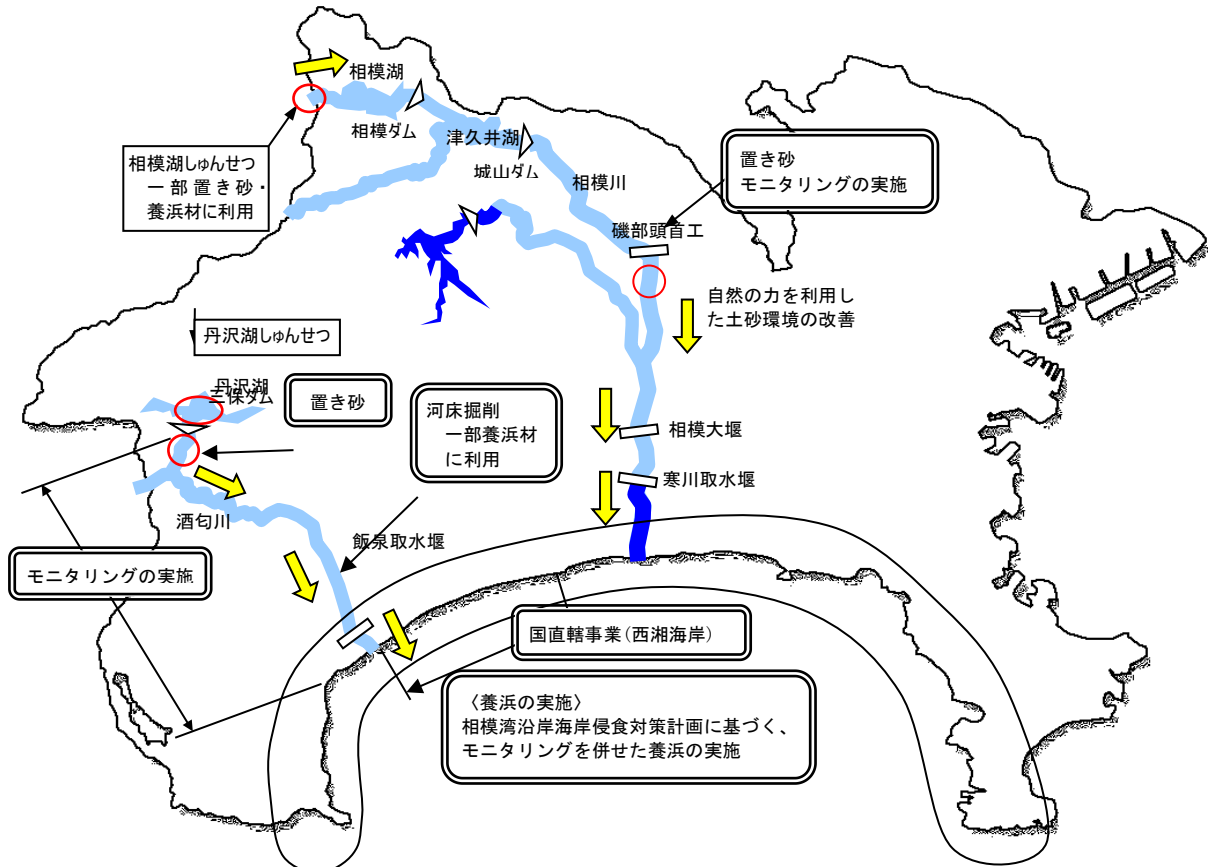
海岸では、侵食状況等を勘察して実施規模を調整しながら、ダムや河川内の堆積土砂等を利用した養浜を行うなど、海岸侵食対策に取り組む。

## ○事業費内訳

(単位：千円)

事業名	令和4年度予算額		備考	
	事業費総額	うち対策分		
海岸高潮対策費	1,154,459	768,100	養浜を主体とした侵食対策	
海岸関係国直轄事業負担金	480,000	480,000		
河川修繕費	川づくり推進費	117,008	117,008	河川の総合的な土砂管理
	河川修繕費	4,100,000	152,000	
合計	5,851,467	1,517,108		

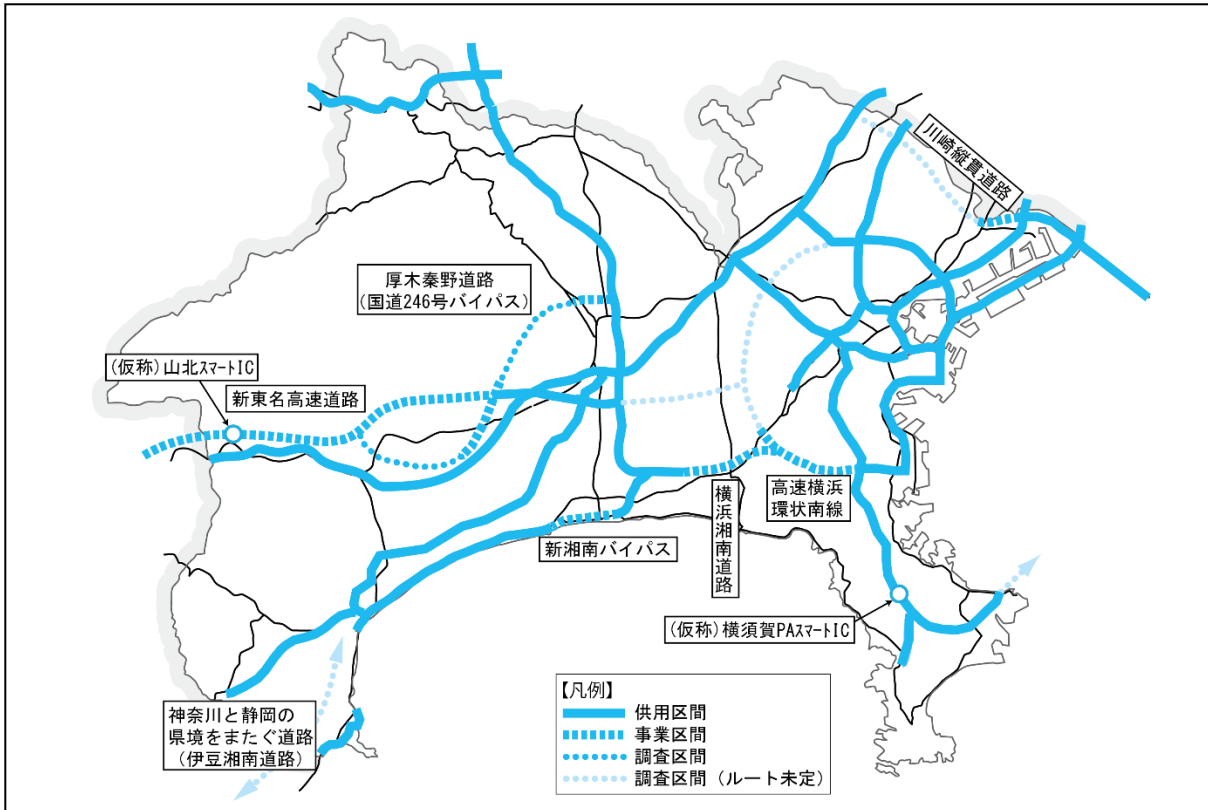
## 事業内容概要図



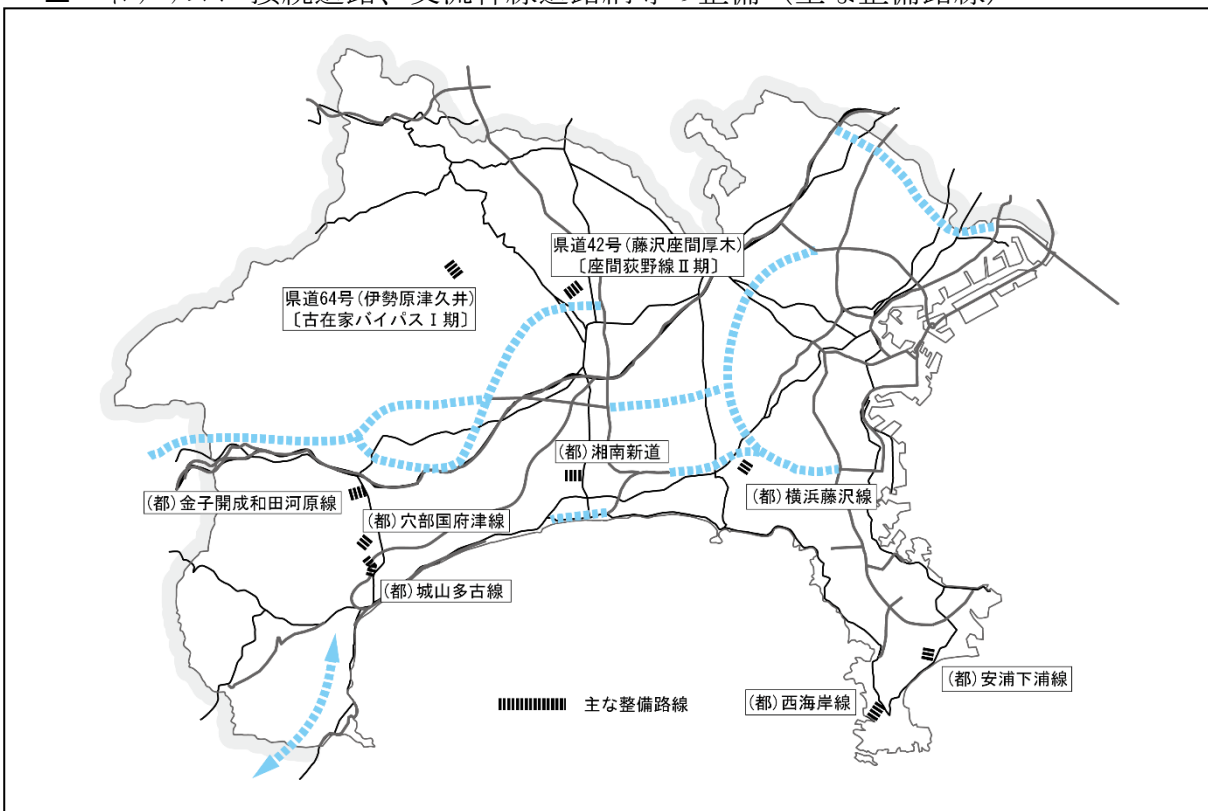
## 「かながわのみちづくり計画」に基づく幹線道路網の整備

主要施策	施策内容	主な整備路線
自動車専用道路網等の整備	<p>県土構造の骨格となる自動車専用道路網等の整備を促進する。</p> <p style="text-align: center;">令和4年度予算額 12,283,781千円</p>	<p>・横浜湘南道路 ・厚木秦野道路 等</p>
インターチェンジ接続道路の整備	<p>自動車専用道路のインターチェンジへの円滑なアクセスを確保し、利便性を県内各地域へ広めるため、インターチェンジに接続する道路の整備を進める。</p> <p style="text-align: center;">令和4年度予算額 966,940千円</p>	<p>・(都)横浜藤沢線 等</p>
交流幹線道路網の整備等	<p>自動車専用道路網を補完して、地域の交流・連携を支える道路網の体系的な整備を進める。</p> <p style="text-align: center;">令和4年度予算額 9,188,736千円</p>	<p>・県道64号（伊勢原津久井） 〔古在家バイパスⅠ期〕 ・県道42号（藤沢座間厚木） 〔座間荻野線Ⅱ期〕 ・(都)湘南新道 ・(都)安浦下浦線 ・(都)西海岸線 ・(都)金子開成和田河原線 ・(都)穴部国府津線 ・(都)城山多古線 等</p>
		<p style="text-align: right;">合 計 22,439,457千円</p>

■ 自動車専用道路網等の整備



■ インターチェンジ 接続道路、交流幹線道路網等の整備 (主な整備路線)

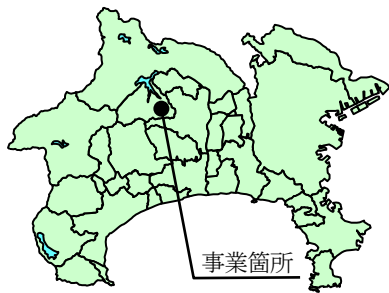


## 道 路 改 良 事 業

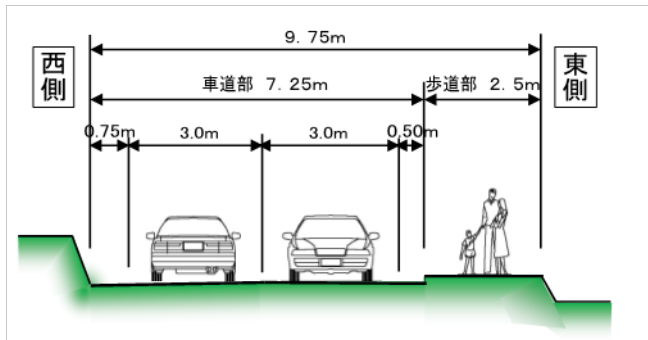
区 分	県道 64 号 (伊勢原津久井) [古在家バイパス I 期]
事業概要	<p>清川村の中心部を通る現道は、通学路に指定されていますが、歩道が未整備で幅員が狭いことから、歩行者の安全な通行や大型車両のすれ違いに支障をきたしています。</p> <p>本バイパスを整備することで、安全な歩行空間を確保するとともに、災害時における物資輸送などの強化や、観光地である宮ヶ瀬湖周辺へのアクセス性の向上を図るものです。</p> <p>令和 4 年度の I 期区間 (北側区間) の開通を目指し、改良工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 清川村煤ヶ谷  (2) 事業延長 0.84 km  (3) 幅 員 9.75m</p>
全体事業費	約 33 億円
令和 4 年度 事業内容	改良工
事業期間	平成 17 年度 ~ 令和 4 年度

事業名	道路改良事業
路線名	県道64号(伊勢原津久井)〔古在家バイパス I期〕
事業箇所	清川村煤ケ谷

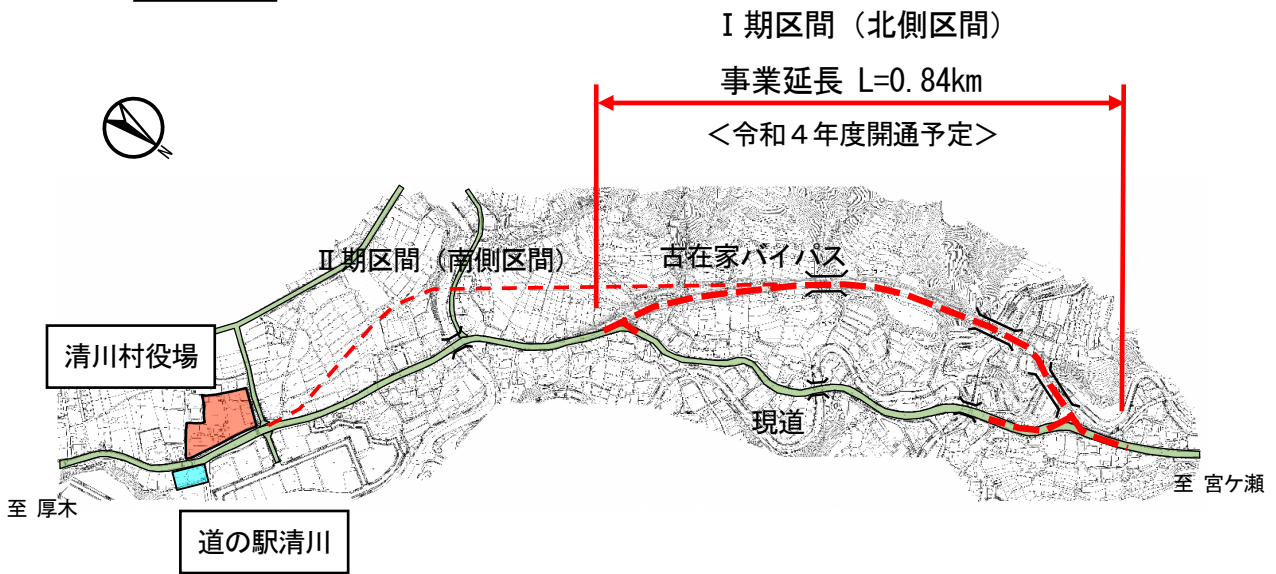
位置図



標準横断面図



平面図



## 街 路 整 備 事 業

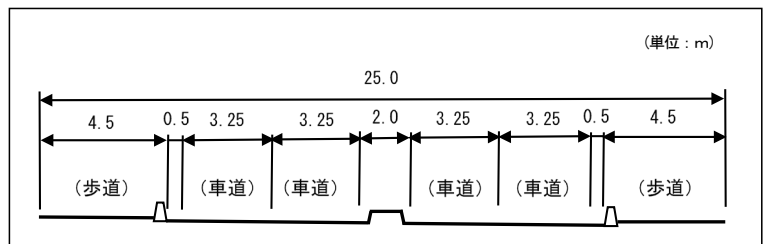
区 分	都市計画道路 湘南新道
事業概要	<p>本路線は、国道1号の北側に位置し、湘南地域における東西方向の交流連携を強化する新たな幹線道路です。</p> <p>令和4年度は、用地取得及び改良工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 平塚市東真土二丁目～西真土一丁目  (2) 事業延長 約1.3km  (3) 幅員 25.0m</p>
全体事業費	約100億円
令和4年度 事業内容	用地取得 改良工
事業期間	平成22年度～令和11年度

事業名	街路整備事業
路線名	都市計画道路 湘南新道
事業箇所	平塚市東真土二丁目～西真土一丁目

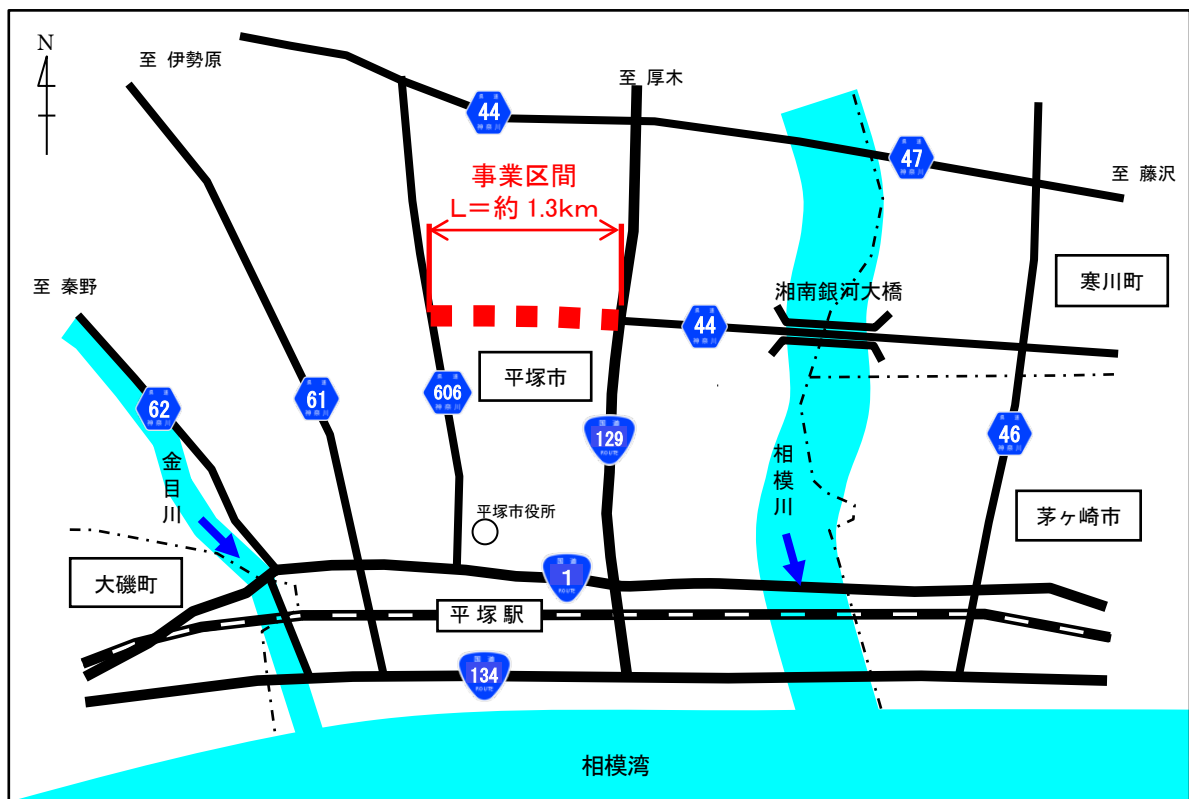
位置図



標準横断面図



平面図

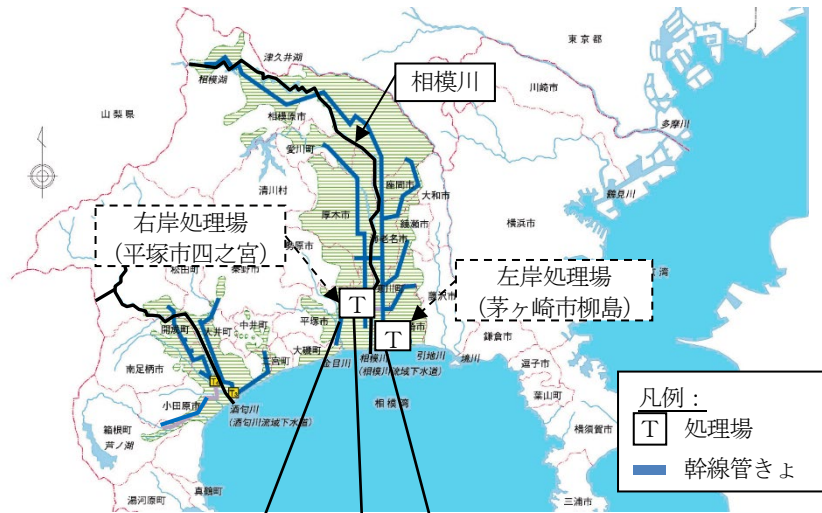


区 分	相模川流域下水道（建設改良事業）
事業概要	<p>「神奈川県流域下水道事業経営ビジョン」（計画期間：令和3～12年度）に基づき、「効果的な老朽化対策」、「災害対策の強化」、「環境保全の推進」を柱に主要施策に取り組みます。</p> <p><b>【主な主要施策（令和4年度）】</b></p> <p>（1）改築更新の重点化 機械・電気設備について、老朽化の度合いと故障などによる利用者等に与える影響を考慮し、厳選して改築更新を実施します。</p> <p>（2）施設の耐震化 大規模地震時でも処理場の機能を継続するため、必要な施設の耐震化を推進します。</p>
全体事業費	約 570 億円
令和4年度事業内容	<p>右岸処理場汚泥処理中央監視設備他改築工事（平塚市四之宮）</p> <p>右岸処理場地下通路耐震補強工事（平塚市四之宮）</p> <p>左岸処理場放流渠逆流防止対策工事（茅ヶ崎市柳島）他</p>
事業期間	令和3年度 ～ 令和12年度



事業名	管渠、ポンプ場及び処理場整備費（建設改良事業）
流域下水道名	相模川流域下水道
事業箇所	茅ヶ崎市柳島、平塚市四之宮他

位置図



右岸処理場  
汚泥処理中央監視設備他改築工事



(現況写真)

左岸処理場  
放流渠逆流防止対策工事※



(現況写真)

※放流口から  
津波が逆流  
することを  
防ぐ工事

右岸処理場  
地下通路耐震補強工事



(現況写真)

区 分	酒匂川流域下水道（建設改良事業）
事業概要	<p>「神奈川県流域下水道事業経営ビジョン」（計画期間：令和3～12年度）に基づき、「効果的な老朽化対策」、「災害対策の強化」、「環境保全の推進」を柱に主要施策に取り組みます。</p> <p><b>【主な主要施策（令和4年度）】</b></p> <p>（1）改築更新の重点化 機械・電気設備について、老朽化の度合いと故障などによる利用者等に与える影響を考慮し、厳選して改築更新を実施します。</p> <p>（2）施設の耐震化 大規模地震時でも処理場の機能を継続するため、必要な施設の耐震化を推進します。</p> <p>（3）水環境の保全 箱根町湯本地区などの下水道未普及地域を解消するため、箱根小田原幹線の整備を推進します。</p>
全体事業費	約 280 億円
令和4年度事業内容	<p>左岸処理場水処理第2系列3、4池機械設備改築工事（小田原市西酒匂）</p> <p>右岸処理場沈砂池ポンプ室耐震補強工事（小田原市扇町）</p> <p>箱根小田原幹線管渠築造工事（小田原市風祭他）他</p>
事業期間	令和3年度 ～ 令和12年度

事業名	管渠、ポンプ場及び処理場整備費（建設改良事業）
流域下水道名	酒匂川流域下水道
事業箇所	小田原市西酒匂、小田原市扇町、小田原市風祭他

位置図



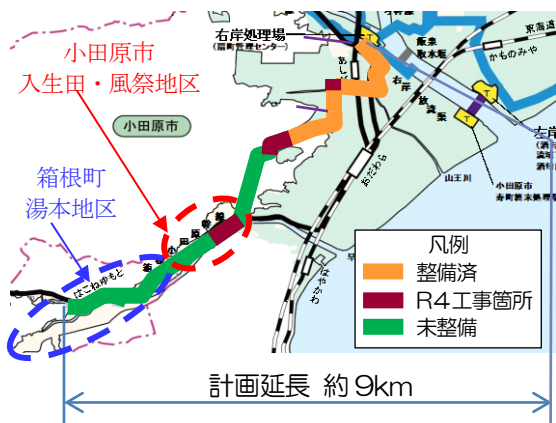
左岸処理場  
水処理第2系列3、4池機械設備改築工事\*



(現況写真)

※下水を浄化する微生物に空気を送る設備の改築工事

箱根小田原幹線  
管渠築造工事



(計画図)

右岸処理場  
沈砂池ポンプ室耐震補強工事



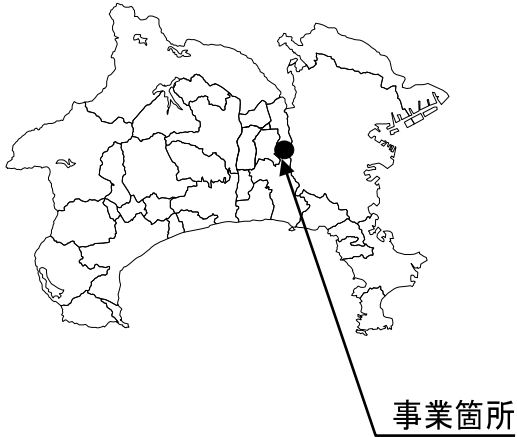
(現況写真)

## 県 営 住 宅 整 備 事 業

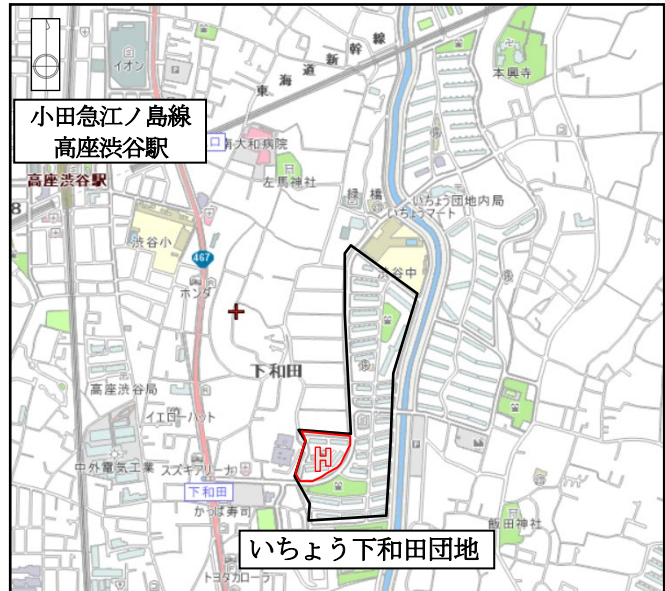
区 分	県営いちょう下和田団地
事業概要	<p>県営住宅整備事業は、住宅に困窮する低額所得者、高齢者、身体障害者等に対し、低廉な家賃で良質な県営住宅を整備することにより住環境水準の向上を図るとともに、県民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するものです。</p> <p>いちょう下和田団地は昭和46年度から昭和47年度に建設された団地で、令和4年度から建替事業を行います。</p> <p>(1) 事業箇所 大和市下和田  (2) 構造階数 鉄筋コンクリート造10階建て  (3) 計画戸数 161戸(1棟)</p>
全体事業費	約45億円
令和4年度 事業内容	<p>建設工事(建築、給排水、電気)  工事監理業務</p>
事業期間	令和4年度～令和6年度

事業名	県営住宅整備事業
団地名	県営いちょう下和田団地
事業箇所	大和市下和田

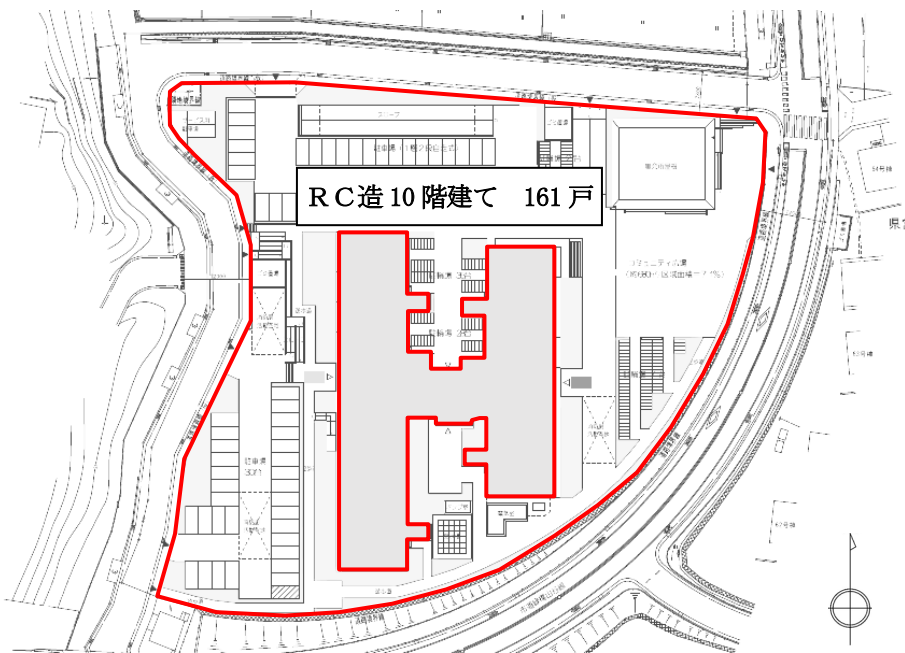
**位置図**



**案内図**



**いちょう下和田団地 建替え後配置図**

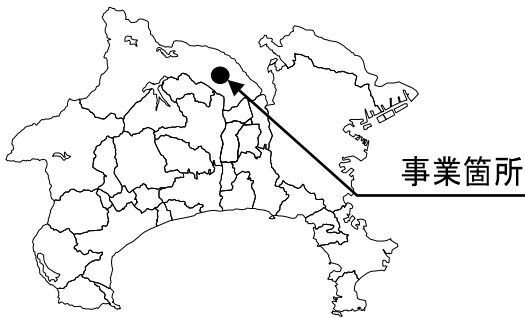


<b>県 営 住 宅 整 備 事 業</b>
------------------------

区 分	県営上溝団地
事業概要	<p>           県営住宅の建替えについては、「神奈川県県営住宅 健康団地推進計画」に基づき、財政負担や業務負担の軽減、民間のノウハウ活用、建替えのスピードアップ等を図ることを目的として、民間活力の導入を積極的に検討しています。         </p> <p>           上溝団地については、立地条件や事業規模等を勘案してPFI方式による建替えが適していることから、PFIによる建替え事業を実施します。         </p> <p>           本事業は、上溝団地のうち東側7街区の既存住宅（79棟561戸）並びに住宅に附属する施設及び屋外工作物等（以下「付帯施設」という。）を解体除却し、新たな県営住宅及び付帯施設並びにコミュニティ機能を有する施設及び広場等を整備する業務並びにこれらを実施する上で必要となる関連業務を一体的に行うものです。         </p> <p>           (1) 事業箇所    相模原市中央区光が丘            (2) 構造階数    コンクリート系構造（SRC・PCを含む）                              ※ 階数は提案による。            (3) 計画戸数    団地東側460戸以上         </p>
全体事業費	約154億円
令和4年度 事業内容	事前調査、設計業務
事業期間	令和4年度～令和11年度

事業名	県営住宅整備事業
団地名	県営上溝団地
事業箇所	相模原市中央区光が丘

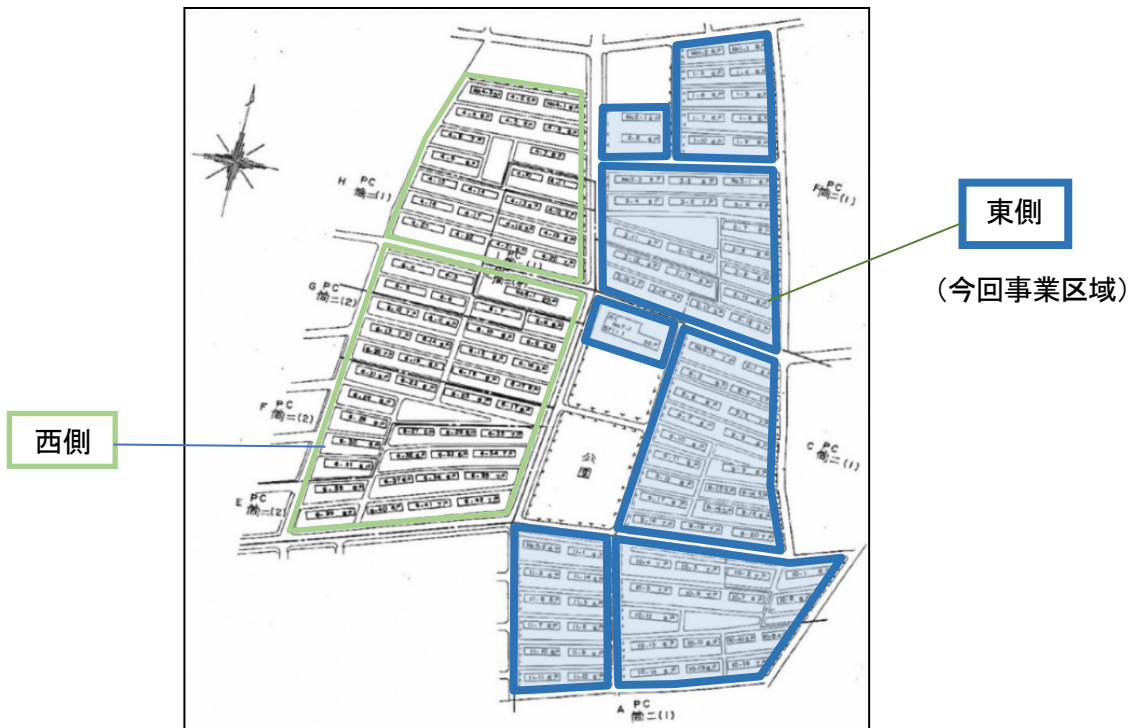
位置図



上溝団地 案内図



上溝団地 配置図





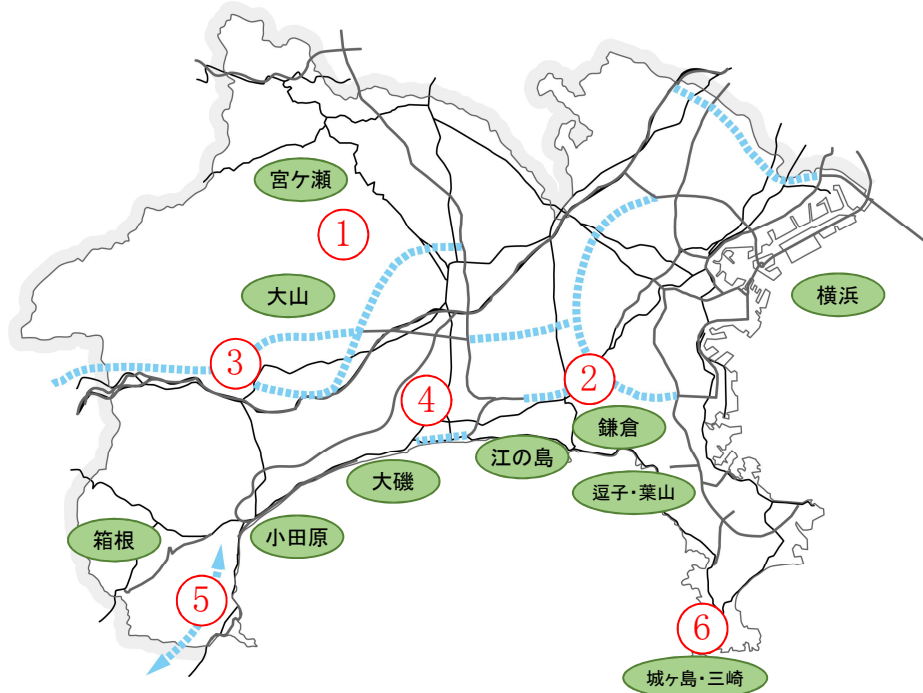


観光地へのアクセスを強化する道路の整備（主な整備路線）

① 県道64号(伊勢原津久井)



② 横浜湘南道路・高速横浜環状南線



③ 新東名高速道路  
(新秦野IC～ 静岡県境)



④ (都) 湘南新道



⑤ 神奈川と静岡の県境をまたぐ道路  
(伊豆湘南道路)



⑥ (都) 西海岸線





【基本的な考え方】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた県内経済の回復に向けて、経済対策を強力に推し進める。なお、地方創生臨時交付金など国庫の活用を優先する。
- 令和2年2月策定の「水防災戦略」に基づく大規模水害対策をはじめ、これまで「地震防災戦略」に基づき進めてきた地震・津波対策や減災対策につながる市街地の整備など、県民の皆様の「いのち」や法人の皆様の活動を守るため、災害に強い県土づくりに継続して取り組む。
- 県内経済の持続的発展や災害時における物資輸送に資するため、県土構造の骨格となる自動車専用道路やインターチェンジ接続道路、地域の交流と連携を支える幹線道路の整備に継続して取り組む。

活用項目		令和4年度当初予算額	
		事業費総額	一般財源
I 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に係る経済対策の推進	(1) 地域経済の活性化 ・ 中小企業経営基盤の強化・安定化や観光産業の振興	16億8,404万円 [-]	- [-]
	(2) 柔軟な経済構造の構築 ・ 製造ライン変更やデリバリー販売への転向といったビジネスモデル転換への支援	81億7,933万円 [-]	79億2,509万円 [-]
	小 計	98億6,337万円 [-]	79億2,509万円 [-]
II 災害に強い県土づくりの推進	(1) 台風・豪雨・火山などの自然災害対策 ・ 「水防災戦略」に基づく河川の整備や市町村が行う避難所の環境整備への支援などの大規模水害対策 ・ 治山・法面や林道の整備	366億5,557万円 [327億 158万円]	82億9,926万円 [72億9,415万円]
	(2) 地震・津波対策の一層の強化 ・ 地域防災力向上に向けた市町村の取組の支援や各種観測・調査研究の推進 ・ 災害時における物資支援の受入体制整備	76億1,614万円 [40億4,511万円]	23億1,395万円 [7億9,936万円]
	(3) 災害に備えた社会基盤施設の整備 ・ トンネル、橋などの安全性向上	159億5,646万円 [154億1,946万円]	13億1,682万円 [13億1,682万円]
	(4) 災害時に重要な役割を果たす県有施設や、県立学校等の耐震改修 ・ 災害時の避難所や帰宅困難者の一時滞在施設に指定されている県有施設、警察署や県立高校などの耐震改修	257億3,665万円 [4億 200万円]	58億4,526万円 [1億 100万円]
	小 計	859億6,484万円 [525億6,816万円]	177億7,530万円 [95億1,134万円]
III 県内経済の持続的な発展に向けた幹線道路の整備 ・ 自動車専用道路やインターチェンジ接続道路、地域の交流と連携を支える幹線道路の整備	246億9,315万円 [229億2,841万円]	37億1,690万円 [26億6,432万円]	
うち、政令市道路整備臨時補助金(財源は全額超過課税を活用)	4億8,000万円 [4億8,000万円]	4億8,000万円 [4億8,000万円]	
合 計	1,205億2,137万円 [754億9,657万円]	<sup>A</sup> 294億1,729万円 [121億7,566万円]	

※[-]内は県土整備局予算

<b>B</b> 超過課税活用額	225億3,224万円
超過課税活用率 (超過課税活用額/一般財源)	<b>B</b> / <sup>A</sup> 76.6%

<参考> 主な活用事業 (I 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に係る経済対策の推進については、県土整備局は該当なし。)

II 災害に強い県土づくりの推進

項目・事業名	
(1) 台風・豪雨・火山などの自然災害対策 河川改修事業費	など
(2) 地震・津波対策の一層の強化 市町村地域防災力強化事業費補助金 政令市市街地再開発臨時補助金	など
(3) 災害に備えた社会基盤施設の整備 道路災害防除事業費	など
(4) 県有施設等の耐震改修 高等学校施設整備工事関連費	など

III 県内経済の持続的な発展に向けた幹線道路の整備

路線名	箇所(区間)等
横浜湘南道路	栄IC・JCT ~ 藤沢IC
厚木秦野道路	圏央厚木IC ~ 厚木北IC 伊勢原市西富岡 ~ 秦野中井IC
(都) 横浜藤沢線(関谷)	鎌倉市関谷
(都) 城山多古線他	小田原市久野 ~ 穴部

※ IC: インターチェンジ, JCT: ジャンクション 名称の一部は仮称。



## 令和4年度 主な完成・開所予定・着手箇所

## 1 完成・開所予定箇所

区分	箇所名	工事箇所	着手年度	概要
道路	県道64号(伊勢原津久井) 〔古在家バイパスⅠ期〕	清川村煤ヶ谷	平成17年度	道路改良事業 L=0.84km
海岸	葉山海岸	葉山町一色	平成25年度	海岸高潮対策事業 L=555m
鉄道	神奈川東部方面線 (相鉄・東急直通線)	羽沢横浜国大駅～日吉駅区間	平成19年度	神奈川東部方面線のうち、 相鉄・東急直通線の開業
県営住宅	万騎ヶ原団地(4期)	横浜市旭区万騎ヶ原	令和3年度	(建替) RC造6階建て 1棟 35戸
県営住宅	阿久和団地(3期4工区)	横浜市瀬谷区阿久和南四丁目	令和3年度	(既存団地継続整備) RC造5階建て 1棟 60戸

## 2 着手箇所

区分	箇所名	工事箇所	完成予定年度	概要
港湾	湘南港	藤沢市江の島一丁目	令和5年度	L=約30m 係留施設
市街地整備	綱島駅東口駅前地区	横浜市港北区綱島東一丁目	令和10年度	施行面積 約0.9ha
県営住宅	上溝団地	相模原市中央区光が丘三丁目	令和11年度	(建替) PFI 460戸以上
県営住宅	追浜第一団地	横須賀市追浜本町一丁目	令和9年度	(建替) PFI 120戸以上
県営住宅	いちょう下和田団地	大和市下和田	令和6年度	(建替) RC造10階建て 1棟 161戸
県営住宅	伊勢原峰岸団地(1期)	伊勢原市上粕屋	令和6年度	(建替) RC造7階建て 1棟 73戸
県営住宅	綾瀬寺尾団地(1期)	綾瀬市寺尾中二丁目	令和6年度	(建替) RC造6階建て 2棟 102戸